

学校だより

# 津久戸

平成29年12月1日  
新宿区立津久戸小学校

12月号

今、成長の時

校長 八田 瑞穂

## 【金管バンド】

11月3日の地域レクリエーションに初めて、金管バンドが参加しました。牛込3中との合同演奏です。本番1週間前には練習も合同でしました。その間の子どもたちの成長には目を見張りました。中学生の教え方が素晴らしいのです。それを学ぶ津久戸の子どもたちの姿。貴重な「学びの場」となりました。

## 【学芸会】

17、18日の学芸会には多くの方のご参観ありがとうございました。ある来賓の方からは、全学年にそれぞれの感想を頂きました。

- ・すくすく伸びている。
- ・友達を気遣うことができていた。
- ・衣装もよく工夫されていて、季節の情景が浮かぶ
- ・合唱もよくそろっている。完成度の高さにびっくり。非常に力強く心に残るハーモニー。
- ・舞台の細かいところにも配慮があり、小学生の学芸会の域を超えている。
- ・子どもの中にはスター性を感じる子もいて、舞台に引き込まれました。

など、様々な角度からほめて頂きました。特にうれしかったのは、『「学習支援」をしている子が生き生きとして演じている姿が印象に残りました。』という一文です。

## 【オリパラ講演会】

北京オリンピック・シンクロ日本代表「石黒由美子」さんの講演がありました。小学校2年生で交通事故に遭い、瀕死の重傷を負います。

失明の危機、三半規管の損傷でまっすぐに泳げない。顔には傷が残り「フランケン」と呼ばれました。

しかし彼女には「シンクロでオリンピックに出る!」という夢がありました。そのことを夢ノートに綴ります。「心一つ」で自分を変え、周囲を変えていく姿があります。単なる気持ちようとか気休めなどではありません。「心一つ」で現実と格闘しその現実を変えていきます。すさまじい本人の努力と「由美ちゃんなら出来るよ。」と励まし続ける母親の姿がありました。

子どもたちは、様々な状況の中でも、機会があればぐんと成長します。そこには、励まし続ける大人の姿があります。

保健室から

「先生!先生!けがしたー!!」と中休みに保健室に入ってくる子どもたち。昼休みになると、けがのことは昔のことに忘れて、元気に遊んでいる姿や、高熱があっても、おうちの方がお迎えに来るまで元気に話し続けている姿を見て「子どものパワーはすごい!」と微笑ましく思っています。

けがをしたら水洗いをしてくる子どもたち、清掃中に保健室がバタバタした時にお手伝いをしてくれる保健室掃除の子、低学年の子が困っていると保健室に連れてきてくれる高学年の子どもたち。4月に比べると身長も大きくなり、体も心もとても成長しているなあと感じています。

寒さも冬に近づいてきました。かぜ・インフルエンザや感染症が流行する時期です。体調が悪いときはゆっくり休養することが大切です。基本的な予防法は手洗い・うがいと規則正しい生活です。帰宅後、食事の前、トイレの後などは十分に手を洗うことをご家庭でも一緒に取り組んでみてください。



主事室から見た子どもたち

「おはようございます」と登校する児童の元気な挨拶で一日が始まります。津久戸小の子どもたちはとても気持ちのよい挨拶をします。

先日の学芸会では、各学年の力のこもった演技に引き込まれました。本を読んだり、音楽を聴いたり、芝居を観たりといったことに身近に接しているからこそ、あんな風に豊かな表現、いきいきとした演技ができるのではないかと感心してしまいました。

みなさんに気持ちよく過ごしてもらいたいと、校舎内の清掃に励んでおります。子どもたちは「いつもきれいにお掃除してくれてありがとうございます。」と挨拶してくれる子どもたちです。また、この頃うれしかったことは、落ち葉掃きしていたところ、「お手伝いさせてください!」と率先して取り組んでくれた子どもがいたことです。

児童と関わるこういった時間を大切に、日々成長していく姿を見守っていききたいと思います。

## 【学年の窓から・・・4年生】

総合的な学習の時間では、福祉「ともに生きる」をテーマに取り組んでいます。

その中で全盲の木暮さんという方を講師としてお呼びし、生活の中で工夫していること、楽しいことなどを見せていただいたりお話していただいたりしました。子どもたちからは「絶望からどんな人に出会い外に出ようと勇気がもてたの?」「町では助けてくれる人はたくさんいますか。」等々たくさんの質問が出ました。その一つ一つに丁寧に答えてくださりながら、「こうやって分かり合いたいと一生懸命に思ってくれる心があれば、もう仲間になれたね。」と木暮さんがおっしゃっていたのが印象的でした。子どもたちは木暮さんのお話から「障害のあるなしに関わらず生きていくことはだれでも大変なこと。だけど、どんなことがあっても明るく生きていく。困っている人がいたら声をかけるのが仲間。」と振り返りをまとめていました。

様々な人と出会う中で、子どもたちの中に自信と温かい他者理解が芽生えてきているのを感じます。

4年2組の子どもたちは、目の前の小さなことにも精一杯取り組みます。人の役に立つことを気持ちよく行動に移す気持ちが育っています。男女仲よくするのが自然なことだと思っています。

学級活動では、各係がクラスを楽しくするための工夫を凝らしています。遊び系のイベントでは、恒例の昔遊び「Sケン」を行い、もみくちゃんになりながら押ししたり転んだりと体全体で遊びました。そんな夢な姿は、私が子どものときと変わりません。ダンス係は、ハロウィンパーティを企画しました。みんなで仮装したり、踊ったりと非日常的な時間を楽しそうに過ごしていました。新聞係は、クラスのみんなに俳句の応募を呼びかけたり、学芸会「ぞう列車よ走れ!」のスタンプラリーを作ったりと、たくさんの発想でクラスを盛り上げてくれています。

今は、体育で取り組んだ鉄棒に夢中です。そこでは、技のコツの教え合いがたくさん見られます。友達同士のちょっとした関わりの中で、子どもたちは小さな成長を積み重ねています。

### 12月の生活目標

『身の回りの物を大切に使おう』

- ・自分の持ち物の整理整頓をしよう。
- ・教室をきれいにしよう。
- ・学校をきれいにしよう。
- ・学期のまとめをしよう。



今年も残すところ一か月となりました。

身の回りの物の見直しや整理整頓を行いましょう。

今年一年がんばった自分のためにも、そしてこれからやってくる来年の自分のためにも、この一か月、心地良い片付け時間を過ごしてみてくださいね。

Let's clean it up!